

中川 理 編  
**近代日本の  
 空間編成史**

2017年 4月刊行

定価:本体7,800円(税別)

▶A5判・550頁

ISBN978-4-7842-1891-2

わが国戦前の空間はどのように編成されてきたのか——。

それは重要な研究課題であるにもかかわらず、従来、個別の事業史の議論にとどまる傾向があった。

本書はそうした状況を乗り越え、日本の近代化過程という歴史全体のなかで議論することを掲げ、インフラストラクチャーと制度や政治、あるいは共同体などのかかわりを考究。建築史、都市計画史、土木史、造園史、歴史学など歴史的研究に携わる一線の研究者が、広くわが国の空間変容の実相を描き出す。

《内容目次》

序 章 近代日本の空間編成史の試み (中川 理)

**第I部 切断か継続か**

第 1 章 東京市区改正計画の具体化に関する一考察 (松山 恵)  
 第 2 章 開港地建築家ブリジェンスの足跡 (大田省一)

**第II部 併存する統治**

第 3 章 「軍都」の形成と都市基盤 (本康宏史)  
 ——第九師団管下金沢の事例を中心に  
 第 4 章 神戸青山の開発と風致保護 (山口敬太)  
 ——部落有林野の解体と山地の近代化  
 第 5 章 財閥組織と都市経営——三菱財閥の「丸の内」 (野村正晴)

**第III部 統制的システムの構築**

第 6 章 基盤編成の一九三〇年代 (青井哲人・岡村健太郎・石樽督和)  
 昭和恐慌下の二陸漁村と津波復興  
 第 7 章 戦時下広畑一帯の工業開発と新興工業都市計画 (中野茂夫)  
 第 8 章 植民地期「京城」の工業都市化と都市計画 (石田潤一郎・金珠也)

**第IV部 システムの内と外**

第 9 章 近代都市計画の技術的基盤 (木方十根・味園将矢)  
 ——土木技師・梶山浅次郎にみるその体現  
 第 10 章 朝鮮巨大電源開発の系譜 (谷川竜一)  
 ——大井川から赴戦江へ  
 第 11 章 郊外住宅地開発に見られた方位館と寺院の誘致(中川 理)

**第V部 非公共の回収**

第 12 章 植民地朝鮮の公設洗濯場の施設計画をめぐって(砂本文彦)  
 第 13 章 帝都における風致地区 (丸山 宏)  
 第 14 章 風景の「近代化」 (小野芳朗)  
 ——瀬戸内海風景の発見と創建

索引(人名・事項)



丸の内全景 (『東京風景』1911年/国立国会図書館所蔵)

**思文閣出版**

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-533-6860 fax.075-531-0009  
<https://www.shibunkaku.co.jp> E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)		
冊数	冊	近代日本の空間編成史		本体7,800円(税別)	ISBN978-4-7842-1891-2	
お名前				tel	本書HPのQRコード	
				e-mail		
ご住所	〒					
送本方法	代引(書籍代+消費税+送料400円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎					



**京都 近代の記憶 場所・人・建築**

中川理著

東京遷都により没落の危機に見舞われ、都市改造や近代建築の導入に積極的に取り組む一方で、まさに生き残りを懸けて「千年のみやこ」を演じてきた街、京都。いまある京都の魅力はいつ、どのように作られたのか。「歴史都市」の近代化の過程で生まれたさまざまなエピソードを、場所・人・建築をキーワードとして写真とともに綴る。

▶A5判・184頁／本体2,200円(税別) ISBN978-4-7842-1812-7

**記念植樹と日本近代 林学者本多静六の思想と事績**

岡本貴久子著

近代日本で行われた「記念植樹」を、個別の歴史事象、林学の創成と展開など時代背景と照合しながら、その活動の主導的立場にあり、方法論を構築した林学者・本多静六に注目し、彼の生家の富士山信仰・不二道の思想的影響も視野に入れながら、近代国家形成のあゆみに記念植樹を位置づける。

▶A5判・568頁／本体9,000円(税別) ISBN978-4-7842-1843-1

**みやこの近代**

丸山宏・伊従勉・高木博志編

平安や桃山時代がしばしば話題になる歴史都市・京都は、実は近現代に大きく変わったまちであった——。研究分野の相違を問わず、また、時流の政治や論調に動ずることなく、「近代の歴史都市としての京都」についての基本的な諸問題を多角的に論じる85篇。平易な文体で、図版多数収録。

▶A5判・268頁／本体2,600円(税別) ISBN978-4-7842-1378-8

**北垣国道日記「塵海」**

塵海研究会編

明治期の地方官・北垣国道(1836～1916)が、京都府知事に就任した明治14年(1881)から、北海道庁長官・拓殖務次官などを経て、京都に隠棲した明治34年(1901)までのさまざまな活動や多くの人々との交流を書き残した日記「塵海」の翻刻。明治期地方官の実情を記した第一級資料。

▶A5判・652頁／本体9,800円(税別) ISBN978-4-7842-1499-0

**京都の歴史災害**

吉越昭久・片平博文編

歴史上、京都を襲ったさまざまな災害をとりあげ、地理情報システム(GIS)などによる災害範囲や規模の復原、特徴や被害発生時の社会的背景の分析、また人々の取り組みなどを論じる。地理学、歴史学、工学など多様な分野の研究者による、立命館大学G-COEプログラム「文化遺産の防災」プロジェクトの成果。

▶A5判・322頁／本体2,300円(税別) ISBN978-4-7842-1643-7

**近代日本公園史の研究**

丸山宏著

近代欧米都市起源の公園が、いかに近代化の装置として導入され、衛生問題、都市問題、記念事業、経済振興策、政治的役割などさまざまな問題を孕みながら受容されてきたか、その歩みを社会史のダイナミズムのなかにとらえた一書。

▶A5判・400頁／本体8,400円(税別) ISBN4-7842-0865-8

**近代古墳保存行政の研究**

尾谷雅比古著

陵墓など古墳の取り扱い、近代天皇制イデオロギーの具現化をめざす国家の施策を、中央・地方庁を含む「行政」が実施する。本書では、従来の研究では抜け落ちていた「行政」に注目。河内長野市の文化財担当職員として長年勤めた著者が、行政と対峙する地域・民衆の動きにも目を向けて文化財保存行政を論じる。

▶A5判・368頁／本体7,200円(税別) ISBN978-4-7842-1734-2

**青島の都市形成史:1897-1945**

樂玉璽著

市場経済の形成と展開

青島がドイツ・日本との間に持った経済関係や、その関係が築かれた歴史的要因、青島の経済発展の過程や特徴、さらに青島が全中国へ与えた影響を解明。日中両国の広範な資料を用いることにより、詳細かつ中立的・客観的な立場での考察を試みる。

▶A5判・364頁／本体6,800円(税別) ISBN978-4-7842-1453-2

**水系都市京都 水インフラと都市拡張**

小野芳朗編著

山紫水明の地とたたえられる京都は、灌漑・防火用の表流水の欠乏に古来悩まされる都市であった。近代京都の都市史を水量・水質・水利権に着目して水インフラという視点から論じるとともに、同一水系に属する伏見が一度は独立市制を志しながら京都市へ合併される顛末を明らかにする。

▶A5判・310頁／本体5,400円(税別) ISBN978-4-7842-1815-8

**近代日本〈陳列所〉研究**

三宅拓也著

地方行政府によって「物産陳列所」や「商品陳列所」などという名称を冠せられて建設された公共の陳列施設が、都市の農業・工業・商業を奨励する目的で各地に設置された経緯を検証し、制度・活動・建築を含めて都市との関わりに注目することで、明治から昭和戦前期の日本に普及した〈陳列所〉の実態を、豊富な図版とともに明らかにする。

▶A5判・640頁／本体7,800円(税別) ISBN978-4-7842-1788-5

**※近代京都研究**

丸山宏・伊従勉・高木博志編

近代の京都には研究対象になる豊富な素材が無尽蔵にある。本書は、京都という都市をどのように相対化できるのか、普遍性と特殊性を射程に入れながら、近代史を中心に分野を超えた研究者たちが多数参加し切磋琢磨した京都大学人文科学研究所・共同研究「近代京都研究」の成果。

▶A5判・628頁／本体9,000円(税別) ISBN978-4-7842-1413-6

**※近代日本と地域振興 京都府の近代**

高久嶺之介著

近代日本の地域社会の姿を、京都府下における明治前期の京都宮津間車道の開鑿・明治前期～中期にかけての琵琶湖疏水と鴨川運河の開鑿・明治初期～昭和の敗戦直後までの天橋立の保存とその振興・明治初期～昭和の敗戦直後にかけての童仙房村の開拓、という特定のテーマを取り上げ、地域振興の視点から考察する。

▶A5判・364頁／本体6,500円(税別) ISBN978-4-7842-1570-6

**近代地方政治と水利土木**

服部敬著

淀川・安威川・神崎川の水利構造の変遷と分析、沿岸住民の治水運動と中央・地方議会と政党の対応、近代化の意味と中央集権的近代国家の性格を地域史の視座から問う。【内容】近代国家の成立と水利慣行／水利組合の成立とその機能／淀川改修運動と地方政治の動向／日露戦後の農事改良政策と水利問題

▶A5判・400頁／本体6,600円(税別) ISBN4-7842-0873-9

**※都道府県庁舎 その建築史的考察**

石田潤一郎著

明治維新以降、100件をこえる都道府県庁舎が建設されてきた。本書では、一次史料をもとに同庁舎の歴史的展開を個別にあとづけ、地方行政制度史・地域史の中で位置づけるとともに、図版史料によってその平面計画及び立面意匠の具体的な把握も試みた。収録図版200余点。

▶A5判・448頁／本体8,600円(税別) ISBN4-7842-0775-9

**世界遺産と天皇陵古墳を問う**

今尾文昭・高木博志編

世界文化遺産登録に向けた動きのなかで浮かびあがる天皇陵をめぐる諸問題——考古学の成果との齟齬、天皇陵指定の経緯、陵墓公開運動、社会への広がり(ウェブ・教科書・報道)などを多角的に取りあげ、これからの天皇陵のあり方を考える。

▶46判・304頁／本体2,300円(税別) ISBN978-4-7842-1872-1

**変容する聖地 伊勢**

ジョン・ブリー編

不変の聖地か／変容する聖地か——。今日、伊勢神宮は古代から変わることなく受け継がれてきた聖域というイメージで語られるが、移りかわる時代のなかで大きく変貌を遂げてきたことはあまり語られていない。本書は国内外の一線の研究者による古代から近・現代にわたる論考16編を収め、伊勢神宮の変容の歴史をひもとく。

▶A5判・340頁／本体2,800円(税別) ISBN978-4-7842-1836-3

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年2回無料でお送りしています。

電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。